

平成 26 年度 一般社団法人室内環境学会第2回臨時理事会議事録

日 時：平成 26 年 6 月 20 日（金）17:00～19:00

場 所：(株) アイデック 7階会議室

出席者

理事：中井里史（代表理事）、東 賢一、山口 一、関根嘉香、水越厚史、野口美由貴

オブザーバー：佐藤 博（九州支部長）、柳 宇（平成 26 年学術大会長）

監事：

事務局：中島大介（事務局長）、松木秀明（会計）、橋本一浩、色摩 操

欠席理事：柳沢幸雄、神野透人

本理事会は総理事数 8 名のうち過半数である 6 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は中井理事長が務めた。

議事次第：

2. 平成 26 年学術大会準備状況

柳大会長より準備状況が報告された。まず室内環境第 17 巻第 1 号に案内が掲載されたこと、大会ホームページ（HP）が開設されたことが報告され、随時更新する HP の情報が最新且つ優先であることが確認された。会期については平成 26 年 12 月 5-6 日に確定し、大まかなスケジュールが示された。また 20 周年特別シンポジウムは「室内環境の今後の展望（仮）」として演者の選定を進めている段階と報告された。今回は参加の事前登録を採用していることから、当日参加者の参加費は正会員 6,000 円、学生会員 2,000 円、非会員 11,000 円、学生非会員 4,000 円とすることを了承した。また懇親会については、当日参加 5,000 円のところ事前振込の場合 4,000 円とすることにした。また大会 HP にバナー広告を採用する案などが示された。前回大会では、登壇者が会員資格を有することの確認ができなかった反省から、演題登録の後に大会から学会事務局に登壇者の照会をすることにした。その他、大会事務局から学会 HP で大会案内が目立つような工夫をして欲しい旨の要望があった。

3. 佐世保大会で非会員が発表者（登壇者）となっているものがあった件

本件について、平成 25 年学術大会長名のお詫び文を作成した。学会 HP への掲載、ニューズレターでの配信及び学会誌 12 月号に掲載することとした。

4. 出版に関する学会規則

山口事業委員長より、本の出版に関する規程案の説明があった。全体方針が了承され、文言等の詳細は各自持ち帰り検討することとし、2 週間を目処に事務局へ意見をまとめて最終案を作成することとした。本件はメール審議に諮ることが了承された。

また現在進行中の各論 2 件（微生物及び化学物質）の出版経費について、各冊とも上限を 10 万円として支出することが了承された。

5. JASIS2014 講演会に関する件

山口事業委員長より、平成 26 年 9 月 3 日（水）に幕張メッセ国際会議場で開催される講演会「最近の空中浮遊菌の測定法—リアルタイム測定法を中心に—」についてプログラム等の詳細が案内された。

なお大阪地区において同様の内容での講演会開催を検討しているが、法人会員企業から会場の提供を受けて良いかとの質問があり、問題ないと判断された。

6. 学会誌・バナー広告の掲載量の変更について

広告料の変更について予算健全化 WG から提案があった。学会誌広告料を法人会員 2 万円、非会員 5 万円（いずれも税込、年間、2 回分）とすること、ホームページバナー広告を法人会員 4 万円、非会員 7 万円（いずれも税込、年間）等に変更することが承認された。変更は新年度（10 月以降）を予定することとした。

これに関し、現在の広告掲出企業には担当者が説明に行くこととした。

7. 公的資金の応募の体制について

野口社会連携委員長より公的資金への応募に際して必要な、経理担当をどうすべきか等の体制に関する問題提起があった。これに関し、社会連携委員会で整理して欲しいとの意見があった。また間接経費あるいは委託経費を学会収入に編入できるようにしたいとの意見があった。

8. 学術大会手順書 WG 報告

東 WG 代表より、検討状況の報告として、大会準備全体の流れに関するマニュアル部分が示された。その他、収支予算・決算書、スケジュール表、協賛後援申請書、開場使用計画書、人員配置計画書及び協賛後援お礼状等が準備されており、引き続き検討すると報告された。またこれらのマニュアルが完成した時点で、学会 HP の会員専用ページに掲載する案が示された。

9. 委員会・支部・WG 活動報告

学術委員会：東委員長より、まず今年度の助成制度の採択結果が報告された。今回は安藤研治正会員（NPO 法人日本健康住宅協会）から申請された「開放型石油暖房器具使用時の室内空気環境調査」が助成額 8 万円で採択された。また他助成金公募に関し、募集開始を 12 月とすること、選考基準に実現可能性を加えること等の変更が承認された。その他、助成金に関するページを学会 HP に開設したこと、新たな各論の企画について検討中との報告があった。

出版委員会：関根委員長より、室内環境第 17 巻第 1 号の発刊報告と第 2 号準備状況が報告された。また J-STAGE の BIB ファイルサポート終了に伴い XML 形式への移行が必要であり、現在印刷会社と対応及び費用について検討中とされた。さらに現在の出版委員の任期が示され、内規との関係における状況が説明された。これに対し、法人化に伴う委員長任期と合わせて委員の任期を総会の終了までに調整するよう指摘があった。

広報委員会：水越委員長より、以下の通り報告があった。大会 HP を広報委員会で作成し、学会 HP と同じサーバーに開設して公開を開始した。学会 HP の管理に関してアクセス権の見直しをし、委員全員で修正が可能とする体制を構築した。管理上の問題が指摘されていたメーリングリストは UMIN Million に移行した。その他、予算健全化 WG と協議しながら、バナー広告の位置の移動、増設等の改善案が示された。その他 J-STAGE のパスワードについて、会員に再度案内することとした。

10. 新規入会希望者の承認

事務局より平成 26 年 3 月から平成 26 年 5 月の入会希望者 9 名（法人会員 2 件、正会員 6 名、学生会員 1 名）及び正会員からシニア会員への移行 3 名のリストが提出され、全員が承認された。

11. その他

- ・会員の種別と権利について、誤記があったので修正することとした。
- ・会員動向報告があり、微減とのことだった。退会者、滞納者のリストが示された。
- ・沖縄コンベンションセンターの見積概算が示され、予算的面から議論があった。見積を整理・確認後理事に送付することし、平成 27 年大会の開催が可能かどうか、次回理事会で判断することとした。
- ・中井理事長より、論文賞の選考を開始するよう指示があった。
- ・次回は 9 月に通常理事会を予定し、予算・決算と定款改正等を議論する予定と案内があった。

以上